

平成 29 年 5 月 31 日

平成 28 年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

事業名 : (日本語) 難治性疾患実用化研究事業
(英語) Practical Research Project for Rare / Intractable Diseases

研究開発課題名 : (日本語) HAM の革新的な医薬品等の開発促進に関する研究
(英語) Research to advance the development of innovative therapies for HAM

研究開発担当者 (日本語) 山野 嘉久 教授
所属 役職 氏名 : 聖マリアンナ医科大学
大学院 先端医療開発学
(英語) Yoshihisa Yamano, Professor
Department of Advanced Medical Innovation
Graduate School of Medicine
St. Marianna University School of Medicine

実施期間 : 平成 26 年 6 月 2 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) (A) 有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名 : (英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 長谷川 泰弘 教授
所属 役職 氏名 : 聖マリアンナ医科大学 医学部神経内科
(英語) Yasuhiro Hasegawa, Professor of Neurology,
Department of Internal Medicine, Division of Neurology
St. Marianna University School of Medicine

分担研究 (日本語) (A) 有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名 : (英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 新野 正明 部長
所属 役職 氏名 : 国立病院機構北海道医療センター 臨床研究部

(英 語) Masaaki Niino, Director
Department of Clinical Research,
National Nishi Sapporo Hospital

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)

開発課題名 : (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness

研究開発分担者 (日本語) 藤原 一男 教授

所属 役職 氏名 : 福島県立医科大学 多発性硬化症治療学講座

(英 語) Kazuo Fujihara, Professor,
Department of Multiple Sclerosis Therapeutics,
Fukushima Medical University School of Medicine

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)

開発課題名 : (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness

研究開発分担者 (日本語) 中川 正法 教授

所属 役職 氏名 : 京都府立医科大学大学院医学研究科 医療フロンティア展開学

(英 語) Masanori Nakagawa, Professor,
Kyoto Prefectural University of Medicine,
Department for Medical Innovation and
Translational Medical Science

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)

開発課題名 : (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness

研究開発分担者 (日本語) 竹之内 徳博 准教授

所属 役職 氏名 : 関西医科大学 微生物学講座

(英 語) Norihiro Takenouchi, Associate professor,
Kansai Medical University

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)

開発課題名 : (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness

研究開発分担者 (日本語) 永井 将弘 准教授

所属 役職 氏名 : 愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター

(英 語) Masahiro Nagai, Professor,
Clinical therapeutic trial center,
Ehime university hospital

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)

開発課題名 : (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness

研究開発分担者 (日本語) 吉良 潤一 教授

所属 役職 氏名 : 九州大学大学院医学研究院 神経内科学分野

(英 語) Jun-ichi Kira, Professor and Chairman,
Department of Neurology, Neurological Institute,
Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名: (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 中村 龍文 教授
所属 役職 氏名: 長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科
(英 語) Tatsufumi Nakamura, Professor
Department of Social Work, Faculty of Human and Social Studies,
Nagasaki International University

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名: (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 高嶋 博 教授
所属 役職 氏名: 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
神経病学講座神経内科・老年病学
(英 語) Hiroshi Takashima, Professor,
Department of Neurology and Geriatrics,
Kagoshima University,
Graduate School of Medical and Dental Sciences

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名: (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 崎間 洋邦 助教
所属 役職 氏名: 琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学
(英 語) Hirokuni Sakima, assistant,
Department of Cardiovascular Medicine, Nephrology and Neurology,
University of the Ryukyus Graduate School of Medicine

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名: (英 語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 米澤 久司 准教授
所属 役職 氏名: 岩手医科大学 内科学講座神経内科・老年科分野
(英 語) Hisashi Yonezawa, Associate professor,
Division of Neurology and Gerontology,
Department of Internal Medicine,
Iwate Medical University School of Medicine,

分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名: (英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
研究開発分担者 (日本語) 坪井 義夫 教授
所属 役職 氏名: 福岡大学医学部医学科 神経内科学教室
(英語) Yoshio Tsuboi, Professor of Department of Neurology,
Fukuoka University, School of Medicine

分担研究 (日本語) (B)大規模 HAM データベースの構築
開発課題名: (英語) (B) Construct a large-scale HAM database
研究開発分担者 (日本語) 高田 礼子 教授
所属 役職 氏名: 聖マリアンナ医科大学 医学部予防医学
(英語) Ayako Takata, Professor,
Department of Preventive Medicine
St. Marianna University School of Medicine

分担研究 (日本語) (D) HAM の分子病態解明とモデル動物作製
開発課題名: (英語) (D) Create an animal model for HAM
研究開発分担者 (日本語) 齊藤 峰輝 教授
所属 役職 氏名: 川崎医科大学医学部微生物学教室
(英語) Mineki Saito, Professor
Department of Microbiology,
Kawasaki Medical School

分担研究 (日本語) (D) HAM の分子病態解明とモデル動物作製
開発課題名: (英語) (D) Create an animal model for HAM
研究開発分担者 (日本語) 外丸 詩野 准教授
所属 役職 氏名: 北海道大学大学院医学研究科分子病理学分野
(英語) Utano Tomaru, Associate professor
Dept. Pathol., Fac. Med. & Grad. Sch. Med., Hokkaido Univ.

分担研究 (日本語) (A) 有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
開発課題名: (C) 新規創薬シーズ探索
(英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
(C) Identify new drug seeds
研究開発分担者 (日本語) 植田 幸嗣 プロジェクトリーダー
所属 役職 氏名: がん研究会 がん研究所 ゲノムセンター
がんオーダーメイド医療開発プロジェクト
(英語) Koji Ueda, Project Leader,
Cancer Precision Medicine Center,
Japanese Foundation for Cancer Research

- 分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
 開発課題名: (英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
 研究開発分担者 (日本語) 松田 文彦 教授
 所属 役職 氏名: 京都大学 大学院医学研究科附属ゲノム医学センター
 (英語) Fumihiko Matsuda, Professor,
 Kyoto University, Graduate School of Medicine.
- 分担研究 (日本語) (A) 有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
 開発課題名: (B) 大規模 HAM データベースの構築
 (英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
 (B) Construct a large-scale HAM database
 研究開発分担者 (日本語) 井上 永介 室長
 所属 役職 氏名: 国立成育医療研究センター 臨床研究開発センター
 データ管理部 生物統計室
 (英語) Eisuke Inoue, Chief, Division of Biostatistics,
 National Center for Child Health and Development
- 分担研究 (日本語) (C)新規創薬シーズ探索
 開発課題名: (D)HAM の分子病態解明
 (英語) (C) Identify new drug seeds
 (D) Create an animal model for HAM
 研究開発分担者 (日本語) 久保田 龍二 准教授
 所属 役職 氏名: 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
 難治ウイルス病態制御研究センター
 (英語) Ryuji Kubota, Professor,
 Center for Chronic Viral Diseases, Kagoshima University
- 分担研究 (日本語) (A)有効性評価指標の開発 (多施設共同前向き研究)
 開発課題名: (英語) (A) Develop an index to evaluate effectiveness
 研究開発分担者 (日本語) 三須 建郎 助教
 所属 役職 氏名: 東北大学大学院医学系研究科 多発性硬化症治療学寄附講座
 (英語) Tatsuro MISU, Senior Lecturer,
 Dept. Multiple Sclerosis Therapeutics & Neurology,
 Tohoku University Graduate School of Medicine
- 分担研究 (日本語) (D) HAM の分子病態解明とモデル動物作製
 開発課題名: (英語) (D) Create an animal model for HAM
 研究開発分担者 (日本語) 佐藤 賢文 准教授
 所属 役職 氏名: 熊本大学大学院先端機構エイズ学研究センター
 (英語) Yorifumi Satou, Associate Professor,

International Research Center for Medical Sciences (IRCMS),
Center for AIDS Research, Kumamoto University

II. 成果の概要（総括研究報告）

<HAM の革新的な医薬品等の開発促進に関する研究>

HTLV-1 関連脊髄症（HAM）は、有効な治療法がない極めて深刻な難治性疾患であるため、革新的な新薬の開発が急務である。しかし HAM は希少な疾患であるうえ、創薬開発のさかんな欧米先進国では特に患者が少ないことから、新薬開発研究はほとんど行われておらず、自然歴などの疫学情報すら収集できていないのが現状である。そのため仮に新薬の候補が発見されたとしても、その有効性を検討するモデル動物は存在せず、また新薬の治験を実施する際に必須となる標準的な有効性評価指標やサロゲートマーカーも未確立であるなどの様々な障壁が存在する。

そこで本研究では、この問題を解決し HAM の新薬開発を推進するための臨床、疫学、生物統計、ゲノム、プロテオミクス、ウイルス免疫、実験動物の専門家から構成されるオールジャパンの研究グループを組織し、HAM の新薬開発を促進するために必要な(1) 有効性評価指標の開発、(2) 大規模 HAM データベースの構築、(3) 新規創薬シーズ探索、(4) HAM の分子病態解明とモデル動物作製を進めた。これにより、臨床情報にリンクした患者検体（患者登録・バイオバンク）→オミックス解析を駆使した次世代の新薬シーズ同定→モデル動物での検討→治験による実用化といった、HAM の新薬開発を促進する研究スキームの確立を進めた。

2014 年度～2016 年度の 3 年間に、以下に示す成果を達成した。

- (1) 有効性評価指標の開発に関する多施設共同前向き研究において、全国 17 の共同研究施設で倫理委員会の承認が得られ、目標症例数 150 例のうち 156 例の登録を完了し、前向き観察研究を進めた。本研究で収集したデータに対して生物統計解析を行い、10m 歩行時間を **primary endpoint** とした多施設共同の検証的試験における必要症例数の算出に成功した。この成果を「HAM に対するステロイドの多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験」の立案につなげ、HAM の治療法開発を促進させた。また、髄液マーカーと臨床情報との相関性解析により、髄液 CXCL10 濃度が HAM におけるステロイドの治療反応性予測マーカーとして有用であることを示した。さらに、難治性疾患実用化研究事業「集約的オミックス解析による難病の原因究明と疾患別遺伝子診断ネットワークの構築」（代表：松田文彦）と連携したゲノム解析により、ヒト白血球抗原（HLA）領域に HAM 発症と強く関連する遺伝子変異の同定に成功した。
- (2) 大規模 HAM データベースの構築については、全国的な HAM 患者レジストリ（HAM ねっと）の活動を推進させ、登録患者は 2016 年度末の時点で 505 名となった。この世界に類を見ない HAM の大規模前向きコホートデータを用いて、世界で初めて HAM の標準化死亡比（SMR）を算出した。その結果、HAM の SMR は 1.58 と高く、HAM 患者の生命予後は一般人口より悪いことが明らかとなった。また HAM の自然歴（発症様式）について統計モデルを用いたパターン分析を行い、HAM は急速進行群と緩徐進行群に分類されることが証明された。さらに分類した各群の予後について比較し、急速進行群が有意に予後不良であることを示した。
- (3) 新規創薬シーズ探索研究では、HAM 患者から HTLV-1 感染細胞を分離してオミックス解析を行い、感染細胞を標的とした新薬シーズ候補 2 種類の同定に成功し、企業と連携して有効性に関する前臨床試験を進め、2 件の特許を出願した。

(4) HAM の分子病態解明とモデル動物作製については、HAM の主病態である「HTLV-1 に起因する中枢での慢性炎症」を再現した遺伝子改変モデル動物の作製を進め、HTLV-1 *tax/*HBZ と MOG 特異的 TCR のダブルトランスジェニックマウスが HAM の新規モデルマウス候補となる可能性が示された。このように本研究は、HAM の新薬開発の阻害要因を解決するための研究を着実に進めた。

<Promoting the development of innovative pharmaceutical products for the treatment of HAM>

Human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1)-associated myelopathy (HAM) is an extremely severe refractory disease. Drugs that effectively treat HAM are lacking and therefore urgently needed. Because HAM is rare, there are few patients with this disease, particularly in developed western countries where the research and development industry is most advanced. Consequently, virtually no research related to the development of new anti-HAM drugs has been conducted, nor has epidemiological data (e.g., the disease's natural history) been collected. Moreover, even if new drug candidates are identified, there are no established tools for evaluating their efficacy; such tools include animal models for pre-trial studies and surrogate markers and standard indices for clinical trials.

This study addresses the aforementioned problems and aims to expedite the development of new drugs for the treatment of HAM. Toward this goal, we organized a Japanese research group composed of experts in clinical medicine, epidemiology, biostatistics, genomics, proteomics, viral immunology, and laboratory animal experimentation. Our specific objectives were as follows: (1) to develop an index to evaluate effectiveness, (2) to construct a large-scale HAM database, (3) to identify new drug seeds, and (4) to elucidate the molecular pathology of and create an animal model for HAM. The development of new anti-HAM drugs by the research team would consist of the following steps: first, link patient-derived specimens to clinical information (patient registration and biobank data); second, identify the next generation of new drug seeds via “omics” analysis; third, test newly discovered drugs in animal models; and lastly, as the practical application, test newly discovered drugs in clinical trials.

For three years (from 2014 to 2016), our achievement are as follows:

(1) A multicenter collaborative prospective study for the development of an efficacy index was planned, 17 collaborating research facilities throughout Japan obtained approval from ethics committees, enrollment was completed for 156 patients in 150 targeted cases, and a prospective observational study was carried out. We also statistically analyzed the data obtained in the observational study and calculated the number of cases needed for a multicenter collaborative confirmatory study using the 10-meter walk time as the primary endpoint. This achievement led to the preparation of a study entitled “Placebo-controlled, Randomized, Double-blind, Inter-group Comparison Study of Steroids for the treatment of HAM”.

To develop indices for evaluation, we analyzed the correlations between cerebrospinal fluid marker levels and clinical parameters. This analysis identified the cerebrospinal fluid concentration of CXCL10 as a useful indicator of the therapeutic response to steroids during HAM treatment. We also performed a genome analysis in cooperation with a research project on practical applications in the treatment of intractable diseases (“Investigation of the Causes of

Intractable Diseases through Intensive Omics Analysis and Construction of a Network for Genetic Diagnosis According to Diseases”; principal investigator, Fumihiko Matsuda). This analysis showed that gene mutations in human leukocyte antigen (HLA) regions were strongly associated with the onset of HAM.

- (2) To construct a large-scale database on HAM, we used the data in a registry of HAM patients throughout Japan (HAM-net), and at the end of fiscal year 2016, 505 patients were enrolled in our study. Using the prospective cohort database, we calculated the standardized mortality ratio (SMR) for HAM, which has not been done previously. The SMR for HAM was as high as 1.58, indicating that HAM patients have a poorer survival prognosis than does the general population. To determine the natural history of HAM (i.e., the pattern of disease development), we performed a pattern analysis using a statistical model and information in the database. Our findings showed that HAM patients could be divided into a rapidly progressing group and a slowly progressing group, and that prognosis was significantly worse in the former.
- (3) To discover new drug development seeds, HTLV-1-infected cells were isolated from HAM patients and subjected to omics analysis. We identified two new drug seeds, evaluated their efficacy in preclinical studies in collaboration with private companies, and applied for two patents.
- (4) We generated genetically modified mice that recapitulated the main pathogenic feature of HAM, namely, chronic inflammation caused by HTLV-1 in the central nervous system. Our findings suggest that double transgenic mice expressing the HTLV-1 gene *tax* (or *HBZ*) and the myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG)-specific T cell receptor gene are an appropriate model for assessing drug effects. In conclusion, we have made consistent progress toward the goal of overcoming the events that impede the development of effective drugs for treatment of HAM.

III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧（国内誌 25 件、国際誌 44 件）

1. ARAYA N, SATO T, ANDO H, TOMARU U, YOSHIDA M, COLER-REILLY A, YAGISHITA N, YAMAUCHI J, HASEGAWA A, KANNAGI M, HASEGAWA Y, TAKAHASHI K, KUNITOMO Y, TANAKA Y, NAKAJIMA T, NISHIOKA K, UTSUNIMIYA A, JACOBSON S, YAMANO Y. HTLV-1 induces a Th1-like state in CD4+CCR4+ T cells. **J Clin Invest**. 2014, 124, 3431-3442.
2. ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, SAICHI N, FUJII R, YAMANO Y, SUGANO S, UEDA K. A plasma diagnostic model of human T cell leukemia virus-1 associated myelopathy Running head:Novel severity grade markers for HAM/TS. **Annals of Clinical and Translational Neurology**. 2014, 2, 231-240.
3. COLER-REILLY A, ANDO H, YAMANO Y. Positive feedback loop via astrocytes causes chronic inflammation in human T lymphotropic virus type 1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. **Clin Exp Neuroimmunol**. 2014, 5, 108-109.

4. KAWAMATA T, OHNO N, SATO K, KOBAYASHI M, JO N, YUJI K, TANOSAKI R, YAMANO Y, TOJO A, UCHIMARU K. A case of post-transplant adult T-cell leukemia/lymphoma presenting myelopathy similar to but distinct from human T-cell leukemia virus type I (HTLV- I)-associated myelopathy. **Springer Plus**. 2014, 3, 581.
5. TEZUKA K, XUN R, TEI M, UENO T, TANAKA M, TAKENOUCHE N, FUJISAWA JI. An animal model of adult T-cell leukemia-humanized mice with HTLV-1 specific immunity. **Blood**.2014, 123, 346-355.
6. ANDO R, NISHIKAWA N, TSUJII T, IWAKI H, YABE H, NAGAI M, NOMOTO M. HTLV- I -associated Myelopathy with Bulbar Palsy-type Amyotrophic Latelal sclerosis-like Symptoms. **A case Report Internal Med**. 2014, 54, 1-3.
7. NAKAMURA T,SATO H K,NAKAMURA H,YAMASAKI H. Intracellular cyclic adenosine monophosphate regulates the efficiency of intercellular transmission of human T-lymphotropic virus type I. **Clin Exp Neuroimmunol**. 2014, 5, 209-215.
8. NAKAMURA T, SATOH K, FUKUDA T, KINOSHITA I, NISHIURA Y, NAGASATO K, YAMAUCHI A, KATAOKA Y, NAKAMURA T, SASAKI H, KUMAGAI K, NIWA M, NOGUCHI M, NAKAMURA H, NISHIDA N, KAWASAKI A. Pentosan polysulfate treatment ameliorates motor function with increased serum soluble vascular cell adhesion molecule-1 in HTLV-1 associated neurologic disease. **J Neurovirol**. 2014, 20, 269-277.
9. NOZUMA S, MATSUURA E, MATSUZAKI T, WATANABE O, KUBOTA R, IZUMO S, TAKASHIMA H. Familial clusters of HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic Paraparesis. **PLOS ONE**. 2014, 9, 1-6.
10. SAITO M. Neuroimmunological aspects of human T cell leukemia virus type 1- associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. **J Neurovirol**. 2014, 20, 164-174.
11. TANAKA Y, TAKAHASHI Y, TANAKA R, KODAMA A, FUJII H, HASEGAWA A, KANNAGI M, ANSARI AA, SAITO M. Elimination of human T cell leukemia virus type-1- infected cells by neutralizing and antibody-dependent cellular cytotoxicity-inducing antibodies against human T cell leukemia virus type-1 envelope gp46. **AIDS Res Hum Retroviruses**. 2014, 30, 542-552.
12. SAITO M, YANAKA R, FUJII H, KOMADA A, TAKAHASHI Y, MATSUZAKI T, TAKASHIMA H, TANAKA Y. The neutralizing function of the anti-HTLV-1 antibody is essential in preventing in vivo transmission of HTLV-1 to human T cells in NOD-SCID/ γ cnull (NOG) mice. **Retrovirology**. 2014, 11, 74.
13. 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) . 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ 神経症候群 (第2版) . 2014, 30, 153-156.
14. 山野嘉久. HTLV-1 の神経障害. **内科**. 2014, 113, 1431.
15. 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の分子病態に基づく治療戦略. **細胞**. 2014, 46, 8-11.
16. 山野嘉久. ヒト細胞白血病ウイルス I 型関連脊髄症. 神経関連感染症 **最新医学** 別冊. 2014, 200-205.
17. 新谷奈津美, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) に対する分子標的治療薬開発の現状と将来. **血液内科**. 2014, 68, 30-35.
18. 山野嘉久. 希少な慢性進行性の神経難病 HAM における治療有効性評価モデルの探索. **臨床評価** 別冊. 2014, 41, 504-508.

19. 中川正法. ヒト T リンパ球向性ウイルス脊髄症 (HTLV-1 関連脊髄症) . *神経内科研修ノート*. 2014, 368-371.
20. 中川正法. レトロウイルス感染症 (HTLV-1 と HIV) . *化学療法の領域*. 2014, 92-102.
21. 松浦英治, 高嶋博. HTLV-1 関連脊髄症. 別冊 **BIO Clinica** 慢性炎症と疾患. 2014, 29-35.
22. 松浦英治, 出雲周二. HTLV-1 associated myelopathy(HTLV-1 関連脊髄症 ; HAM)-日常臨床における HTLV-1 の理解と HAM 診断のピットフォールー. *脊椎脊髄ジャーナル*. 2014, 747-753.
23. YAMAUCHI J, COLER-REILLY A, SATO T, ARAYA N, YAGISHITA N, ANDO H, KUNITOMO Y, TAKAHASHI K, TANAKA Y, SHIBAGAKI Y, NISHIOKA K, NAKAJIMA T, HASEGAWA Y, UTSUNIMIYA A, KIMURA K, YAMANO Y. Mogamulizumab, Anti-CCR4 antibody mogamulizumab targets human T-lymphotropic virus type I-infected CD8+ as well as CD4+ T cells to treat associated myelopathy. *J Infect Dis*. 2015, 211, 238-248.
24. MATSUURA E, KUBOTAR, TANAKA Y, TAKASHIMA H, IZUMO S. Visualization of HTLV-1 Specific Cytotoxic T Lymphocytes in the Spinal Cords of Patient With HTLV-1-Associate Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis. *J Neuropathol Exp Neurol*. 2015, 74, 2-14.
25. MATSUURA E, YOSHIMURA A, NOZUMA S, HIGUCHI I, KUBOTA R, TAKASHIMA H. Clinical presentation of axial myopathy in twosiblings with HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP). *BMC Neurology*. 2015,15,18.
26. ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, SAICHI N, FUJII R, YAMANO Y, UEDA K. A plasma diagnostic model of human T-cell leukemia virus-1 associated myelopathy, *Ann Clin Transl Neurol*. 2015, 2(3), 231-40.
27. NAKAMURA H, TAKAHASHI Y, YAMAMOTO-FUKUDA T, HORAI Y, NAKASHIMA Y, ARIMA K, NAKAMURA T, KOJI T, KAWAKAMI A. Direct infection of primary salivary gland epithelial cells by human T lymphotropic virus type I in patients with Sjögren's syndrome. *Arthritis Rheumatol*, 2015, 67, 1096-1106.
28. ANDO R, NISHIKAWA N, TSUJII T, IWAKI H, YABE H, NAGAI M, NOMOTO M. Human T-lymphotropic Virus Type- I (HTLV- I)-associated Myelopathy with Bulbar Palsy-type Amyotrophic Lateral Sclerosis-like Symptoms. *INTERNAL MEDICINE*, 2015, 54, 1105-1107.
29. 中村龍文. HTLV-I 関連脊髄症に対する新しい治療戦略の開発に向けて. *Neuroinfection*, 2015, 20, 13-17.
30. BANGHAM C, ARAUJO A, YAMANO Y, TAYLOR G. HTLV-I-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis. *Nature Reviews Disease Primers*, 1, Published online, 2015
31. NAKAMURA H, SHIMIZU T, TAKAGI Y, TAKAHASHI Y, HORAI Y, NAKASHIMA Y, SATO S, SHIRAISHI H, NAKAMURA T, FUKUOKA J, NAKAMURA T, KAWAKAMI A. Reevaluation for clinical manifestations of HTLV-I-seropositive patients with Sjögren's syndrome. *BMC Musculoskelet Disord* , 2015, 16, 335.
32. MARTIN F, INOUE E, CORTESE ICM, de ALMEIDA KRUSCHEWSKY R, ADONIS A, GRASSI MFR, GALVAO-CASTRO B, JACOBSON S, YAMANO Y, TAYLOR GP, BLAND M. Timed walk as primary outcome measure of treatment response in clinical trials for HTLV-1-associated myelopathy: a feasibility study. *Pilot and Feasibility Studies* , 2015, 1, 35.

33. KURAMITSU M, OKUMA K, YAMOCHI T, SATO T, SASAKI D, HASEGAWA H, UMEKI K, KUBOTA R, SOBATA R, MATSUMOTO C, KANEKO N, NARUSE I, YAMAGISHI M, NAKASHIMA M, MOMOSE H, ARAKI K, MIZUKAMI T, MIZUSAWA S, OKADA Y, OCHIAI M, UTSUNOMIYA A, KOH KR, OGATA M, NOSAKA K, UCHIMARU K, IWANAGA M, SAGARA Y, YAMANO Y, SATAKE M, OKAYAMA A, MOCHIZUKI M, IZUMO S, SAITO S, ITABASHI K, KAMIHIRA S, YAMAGUCHI K, WATANABE T, HAMAGUCHI I. Standardization of Quantitative PCR for Human T-cell Leukemia Virus Type 1 in Japan: A Collaborative Study. **J Clin Microbiol**, 2015, 53(11), 3485-3491.
34. YASUMA K, YASUNAGA JI, TAKEMOTO K, SUGATA K, MITOBE Y, TAKENOUCHI N, NAKAGAWA M, SUZUKI Y, MATSUOKA M. HTLV-1 bZIP factor impairs anti-viral immunity by inducing co-inhibitory molecule, T cell immunoglobulin and ITIM domain (TIGIT). 2015, **PLoS Pathog**, 12(1), e1005372
35. 中村龍文, 松尾朋博. HTLV-I 関連脊髄症. **Brain and Nerve**. 2015, 67, 845-858.
36. 高宮資宜, 高松和弘, 下江 豊, 齊藤峰輝, 栗山 勝. HTLV-1 キャリアに発症した一過性脳梁膨大部病変を伴った EB ウイルスによる急性散在性脳脊髄炎. **神経内科**, 2015, 83(1), 74-79.
37. 石塚賢治, 山野嘉久, 宇都宮與, 内丸薫. HTLV-1 キャリア外来の実態調査. **臨床血液**, 2015, 56(6), 666-672.
38. 山野嘉久, 新谷奈津美, 八木下尚子, 佐藤知雄. 免疫性神経疾患—基礎・臨床研究の最新知見—. **日本臨牀**, 2015, 73(7), 546-553.
39. 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) —分子病態解明による治療薬開発の新展開. **医学のあゆみ**, 2015, 255(5), 485-490.
40. 中村龍文, 佐藤克也. HTLV-I 関連脊髄症/熱帯性痙性不全対麻痺症 (HAM/TSP). 免疫症候群 (第 2 版)—その他の免疫疾患を含めて—. **日本臨牀**, 2015.
41. 山野嘉久. HAM に対するヒト化 CCR4 抗体の医師主導治験. **臨床評価**, 2015, 43(2), 418-421.
42. 山野嘉久. 痙性対麻痺 (HAM を含む) . **今日の治療指針** 2016, 964-965.
43. COLER-REILLY ALG, YAGISHITA N, SUZUKI H, SATO T, ARAYA N, INOUE E, TAKATA A, YAMANO Y. Nation-wide epidemiological study of Japanese patients with rare viral myelopathy using novel registration system (HAM-net). **Orphanet J Rare Dis**, 2016, 11(1):69.
44. YAMANO Y, COLER-REILLY A. HTLV-1 induces a Th1-like state in CD4+ CCR4+ T cells that produces an inflammatory positive feedback loop via astrocytes in HAM/TSP. **J Neuroimmunol.**, 2017, 15:304:51-55.
45. WILLEMS L, HASEGAWA H, ACCOLLA R, BANGHAM C, BAZARBACHI A, BERTAZZONI U, CARNEIRO-PROIETTI AB, CHENG H, CHIECO-BIANCHI L, CIMINALE V, COELHO-DOS-REIS J, ESPARZA J, GALLO RC, GESSAIN A, GOTUZZO E, HALL W, HARFORD J, HERMINE O, JACOBSON S, MACCHI B, MACPHERSON C, MAHIEUX R, MATSUOKA M, MURPHY E, PELOPONESE JM, SIMON V, TAGAYA Y, TAYLOR GP, WATANABE T, YAMANO Y. Reducing the global burden of HTLV-1 infection: An agenda for research and action. **Antiviral Res**, 2016, 11(137):41-48.

46. GALLO RC, WILLEMS L, HASEGAWA H; GLOBAL VIRUS NETWORK'S TASK FORCE ON HTLV-1: ACCOLLA R, BANGHAM C, BAZARBACHI A, BERTAZZONI U, ANNA B, CHENG H, CHIECO-BIANCHI L, CIMINALE V, GESSAIN A, GOTUZZO E, HALL W, HERMINE O, JACOBSON S, MACCHI B, MAHIEUX R, MATSUOKA M, MCSWEEGAN E, MURPHY EL, PÉLOPONÈSE JM, REIS J, SIMON V, TAGAYA Y, TAYLOR GP, WATANABE T, YAMANO Y. Screening transplant donors for HTLV-1 and -2. **Blood**, 2016, 128(26):3029-3031.
47. TERADA Y, KAMOI K, OHNO-MATSUI K, MIYATA K, YAMANO C, COLER-REILLY A, YAMANO Y. Treatment of rheumatoid arthritis with biologics may exacerbate HTLV-1-associated conditions: **A case report. Medicine** (Baltimore), 2017, 96(6): e6021.
48. COLER-REILLY ALG, SATO T, MATSUZAKI T, NAKAGAWA M, NIINO M, NAGAI M, NAKAMURA T, TAKENOUCI N, ARAYA N, YAGISHITA N, INOUE E, YAMANO Y. Effectiveness of Daily Prednisolone to Slow Progression of HTLV-1-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis: A Multi-Center Retrospective Cohort Study. **Neurotherapeutics**, in Press 2017.
49. SUGATA K, YASUNAGA J, MIURA M, AKARI H, UTSUNOMIYA A, NOSAKA K, WATANABE Y, SUZUSHIMA H, KOH KR, NAKAGAWA M, KOHARA M, MATSUOKA M. Enhancement of anti-STLV-1/HTLV-1 immune responses through multimodal effects of anti-CCR4 antibody. **Sci Rep**. 2016 Jun 2;6:27150.
50. NAKAMURA T, SATOH K, FUKUSHIMA N. Involvement of C-X-C chemokine receptor type-4 signaling in the efficiency of intercellular transmission of human T-lymphotropic virus type I. **Clin Exp Neuroimmunol** 2016;7:69-74.
51. FUKUI S, NAKAMURA H, TAKAHASHI Y, IWAMOTO N, HASEGAWA H, YANAGIHARA K, NAKAMURA T, OKAYAMA A, KAWAKAMI A. Tumor necrosis factor alpha inhibitors have no effect on a human T-lymphotropic virus type-I (HTLV-I)-infected cell line from patients with HTLV-I-associated myelopathy. **BMC Immunol**. 2017; in press.
52. YASUHIRO ISHIDOU. KANEHIRO MATSUYAMA. EIJI MATSUURA. TAKAO SETOGUCHI .SATOSHI NAGANO. HIRONORI KAKOI . MASATAKA HIROTSU. ICHIRO KAWAMURA .TAKUYA YAMAMOTO. Setsuro Komiya Endemic impact of human T cell leukemia virus type 1 screening in bone allografts. **Cell Tissue Bank**. 2016.17(4):555-560.
53. EIJI MATSUURA, YOSHIMI ENOSE-AKAHATA, KAREN YAO, UNSONG OH, YUETSU TANAKA, HIROSHI TAKASHIMA, STEVEN JACOBSON. Dynamic acquisition of HTLV-1 tax protein by mononuclear phagocytes: Role in neurologic disease **J Neuroimmunol**. 2016. 15;304:43-50.
54. EIJI MATSUURA*, SATOSHI NOZUMA, YUICHI TASHIRO, RYUJI KUBOTA, SHUJI IZUMO, HIROSHI TAKASHIMA. HTLV-1 associated myelopathy/ tropical spastic paraparesis (HAM/TSP): A comparative study to identify factors that influence disease progression. **J Neurol Sci**. 2016. 15; 371:112-116.
55. NOZUMA S, MATSUURA E*, KODAMA D, TASHIRO Y, MATSUZAKI T, KUBOTA R, IZUMO S, TAKASHIMA H. Effects of host restriction factors and the HTLV-1 subtype on susceptibility to HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. **Retrovirology**. 2017. 14(1):26.

56. SHIOHAMA Y, NAITO T, MATSUZAKI T, TANAKA R, TOMOYOSE T, TAKASHIMA H, FUKUSHIMA T, TANAKA Y, SAITO M. Absolute quantification of HTLV-1 basic leucine zipper factor (HBZ) protein and its plasma antibody in HTLV-1 infected individuals with different clinical status. **Retrovirology**. 2016, 13, 29.
57. YASUMA K, MATSUZAKI T, YAMANO Y, TAKASHIMA H, MATSUOKA M, SAITO M. HTLV-1 subgroups associated with the risk of HAM/TSP are related to viral and host gene expression in peripheral blood mononuclear cells, independent of the transactivation functions of the viral factors. **Journal of Neurovirology**. 2016, 22(4), 416-30.
58. SAITO M. HTLV-1 (book chapter). **Reference Module in Life Sciences**, 1-3. Elsevier.
59. HIGASA, K., MIYAKE, N., YOSHIMURA, J., OKAMURA, K., NIIHORI, T., SAITSU, H., DOI, K., SHIMIZU, M., NAKABAYASHI, K., AOKI, Y., TSURUSAKI, Y., MORISHITA, S., KAWAGUCHI, T., MIGITA, O., NAKAYAMA, K., NAKASHIMA, M., MITSUI, J., NARAHARA, M., HAYASHI, K., FUNAYAMA, R., YAMAGUCHI, D., ISHIURA, H., KO, W.Y., HATA, K., NAGASHIMA, T., YAMADA, R., MATSUBARA, Y., UMEZAWA, A., TSUJI, S., MATSUMOTO, N. AND MATSUDA, F. Human genetic variation database, a reference database of genetic variations in the Japanese population. **J. Hum. Genet.** 2016, 61, 6, 547-553.
60. KAWAGUCHI, S., HIGASA, K., SHIMIZU, M., YAMADA, R. AND MATSUDA, F. HLA-HD: An accurate HLA typing algorithm for next-generation sequencing data. **Hum. Mutat.** 2017 Apr 16. [Epub ahead of print].
61. MIYAZATO P, MATSUO M, KATSUYA H, AND SATOU Y*. Transcriptional and Epigenetic Regulatory Mechanism of HTLV-1 provirus. **Viruses** , 2016, 8(6), 171.
62. MIYAZATO P, KATSUYA H, FUKUDA A, UCHIYAMA Y, MATSUO M, TOKUNAGA M, HINO S, NAKAO M, AND SATOU Y*. Application of targeted enrichment to next-generation sequencing of retroviruses integrated into the host human genome. **Scientific Reports**, 2016, 6:28324.
63. SATOU Y*, MIYAZATO P, ISHIHARA K, YAGUCHI H, MELAMED A, MIURAM, FUKUDA A, NOSAKA K, WATANABE T, ROWAN A, NAKAO M, AND BANGHAM CRM*. The retrovirus HTLV-1 inserts an ectopic CTCF-binding site into the human genome. **PNAS** , 2016, 113: 3054-59.
64. 山野嘉久. HAM に対するヒト化 CCR4 抗体の医師主導治験. **臨床評価**, 2016, 43(2):418-421.
65. 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症の病態に基づいた疾患修飾薬の開発. **Modern Physician**, 2016, 36(7):682-687.
66. 新谷奈津美, 佐藤知雄, アリエラ・コラライリー, 八木下尚子, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の分子病態解明による治療薬開発の新展開. **Jpn J Clin Immunol**, 2016, 39 (3):207-212.
67. 山野嘉久, 齋藤滋. HTLV-1. **産科と婦人科**, 2016, 83 (9) : 1021-1026.
68. 新谷奈津美, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の分子病態と治療. **血液内科**, 2017, 74(3):373-379.
69. 中村龍文, 中嶋秀樹. HTLV-I 関連脊髄症. **免疫性神経疾患—病態と治療のすべて**. 2016; 264-269. 中山書店.

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. Quantitative membrane proteome profiling to discover therapeutic targets for adult T-cell leukemia (ATL)., ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, FUJII R, TATSUGUCHI A, SAICHI N, NAKAGAWA H, YAMANO Y, UEDA K, AACR Annual Meeting 2014, 2014/04/, 国外.
2. 胸腺におけるプロテアソームキモトリプシン様活性サブユニットの発現と T 細胞選択, 木内静香, 外丸誌野, 紺野沙織, 石津明洋, 宮島祥太, 平川彩香, 笠原正典, 第 103 回日本病理学会総会, 2014/04/, 国内.
3. プロテアソーム機能異常と脳機能の低下, 伊藤智樹, 外丸誌野, 大村優, 石津明洋, 笠原正典, 第 103 回日本病理学会総会, 2014/04/, 国内.
4. 高齢男性でみられた EBV 陽性肝脾 $\gamma\delta$ T 細胞リンパ腫の一例, 竹中淳規, 大塚紀幸, 藤田裕美, 中馬誠, 外丸誌野, 石津明洋, 笠原正典, 第 103 回日本病理学会総会, 2014/04/, 国内.
5. 樹状細胞を介した HTLV-1 感染モデルの構築, 竹ノ内徳博, 上野孝治, 手塚健太, 田中正和, 藤澤順一, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
6. 球麻痺型筋萎縮性側索硬化症様の症状を呈した HTLV-1 関連脊髄症の 1 例, 安藤利奈, 岩城寛尚, 井智明, 西川典子, 永井将弘, 野元正弘, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
7. The Peripheral Blood T-cell Subset Dynamics of Oral Fingolimod (FTY720)-Treated Multiple Sclerosis Patients., KIRA J, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
8. Modulation of EAE in an atopic diathesis animal., KIRA J, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
9. 過去 10 年間に当科に入院した HAM 患者 144 人の筋力低下パターンの検討, 松浦英治, 野妻智嗣, 松崎敏男, 渡邊 修, 久保田龍二, 出雲周二, 高嶋 博, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
10. エクソーム解析による HAM 疾患感受性遺伝子の探索 Exome sequencing identifies novel rare variants in HAM/TSP., 野妻智嗣, 松浦英治, 久保田龍二, 児玉大介, 松崎敏男, 渡邊 修, 三井純, 石浦浩之, 高橋祐二, 山野嘉久, 森下真一, 辻省次, 出雲周二, 高嶋 博, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
11. HTLV-1 遺伝子およびサイトカイン発現抑制効果を指標とした HAM 治療薬・抗体医薬の検討, 齊藤峰輝, 塩浜康雄, 後川 潤, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
12. HAM の炎症慢性化における astrocyte を介した炎症悪性ループの重要性, 山野嘉久, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.
13. 患者 QOL の改善に向けた患者レジストリの満足度調査, 菊池崇之, 有福厚孝, 木村未祐奈, 佐藤健太郎, 本橋隆子, 木村美也子, 網中雅仁, 高田礼子, 八木下尚子, 山野嘉久, 第 55 回日本神経学会学術大会, 2014/05/, 国内.

15. “Westernization” of Multiple Sclerosis in Japan: Genetic and Environmental Backgrounds Underlying The Rapid Changes in Epidemiological and Clinical Features of Multiple Sclerosis in Japanese., KIRA J, DFG-JSPS Symposium Shared Pathway, 2014/06/, 国外.
16. HTLV-1 関連脊髄症の疾患活動性と発症年齢の関係－HAM は発症年齢が高いほど急速進行する－, 松浦英治, 大窪隆一, 渡邊 修, 高嶋 博, 第 51 回日本老年医学会, 2014/06/, 国内.
17. Clinical manifestation and disease course of the patient with HAM/TSP., MATSUURA E, OZUMA S, WATANABE O, YAKASHIMA H, 13th ICNMD, 2014/07/, 国外.
18. 髄腔内バクロフェン療法 (ITB 療法) を受けた HTLV- I associated myelopathy(HAM)症例に対する運動療法とロボットスーツ HALR の歩行改善効果, 奥田求己, 池田 巧, 高橋孝多, 瀬尾和弥, 近藤正樹, 堀井基行, 武澤信夫, 水野敏樹, 久保俊一, 中川正法, 第 4 回 ロボットリハビリテーション研究大会, 2014/07/, 国内.
19. 膜プロテオーム解析によるヒト T 細胞白血病ウイルス-I 型 (HTLV-1) 関連疾患に対する新規治療標的分子の探索. profiling to discover therapeutic targets for HTLV-I associated diseases., 石原 誠人, 新谷 奈津美, 佐藤 知雄, 龍口文子, 最知直美, 宇都宮與, 山野 嘉久, 菅野 純夫, 植田 幸嗣, 日本プロテオーム学会 2014 年会, 2014/07/, 国内.
20. HAM 患者登録システム「HAM ねっと」を用いた疫学的解析, 山野嘉久, 木村美也子, 八木下尚子, 鈴木弘子, 石川美穂, 小池美佳子, 齊藤 祐美, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 高田礼子, 第 1 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2014/08/, 国内.
21. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の臨床的評価指標の有用性に関する検討, 佐藤知雄, 井上永介, 新谷奈津美, 高橋克典, 國友康夫, ARIELLA COLER-R, 山内淳司, 八木下尚子, 山野嘉久, 第 1 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2014/08/, 国内.
22. HTLV-1 による HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 病原性 T 細胞の発生機構の解析, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 安藤仁, 外丸詩野, ARIELLA COLER-R, 八木下尚子, 山内淳司, 長谷川温彦, 神奈木真理, 田中勇悦, 宇都宮與, 山野嘉久, 第 1 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2014/08/, 国内.
23. HTLV-1 関連脊髄症(HAM)患者登録システム「HAM ねっと」の患者満足度調査, 八木下尚子, 有福厚孝, 菊池崇之, 木村未祐奈, 佐藤健太郎, 石川美穂, 鈴木弘子, 小池美佳子, 齊藤祐美, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 木村美也子, 高田礼子, 山野嘉久, 第 1 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2014/08/, 国内.
24. HAM における抗 CCR4 抗体療法の有用性および CCR4+CD8+T 細胞の異常に関する検討, 山内淳司, 新谷奈津美, 安藤仁, 國友康夫, 高橋克典, ARIELLA COLER-R, 八木下尚子, 佐藤知雄, 宇都宮與, 山野嘉久, 第 1 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2014/08/, 国内.
25. HAM の歩行不安定症に対する歩行改善プログラムに関する検討, 遠藤寿子, 中島孝, 池田哲彦, 大田健太郎, 會田泉, 米持洋介, 山野嘉久, 第 1 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2014/08/, 国内.
26. The Japanese Desmoteplase DIAS-J Safety and Tolerability Trial Has Been Completed., OKADA Y, HASEGAWA Y, MORI E, NAGAIHIRO S, TRUELSEN T, LINDSTEN A, YAMAGUCHI T, On behalf of DIAS-J Investigators, Asia Pacific Stroke Conference, 2014/09/, 国外.

27. Comprehensive membrane-proteomic analysis for discovery of novel therapeutic targets against adult T-cell leukemia., ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, SAICHI N, FUJII R, TATSUGUCHI A, UTSUNOMIYA A, YAMANO Y, SUGANO S, UEDA K, 第 73 回日本癌学会学術総会, 2014/09/, 国内.
28. 樹状細胞を介した HTLV-1 感染モデルの構築と薬剤スクリーニングへの応用, 竹之内徳博, 上野孝治, 荀潤澤, 田中正和, 藤澤順一, 第 19 回日本神経感染症学会総会学術集会, 第 26 回日本神経免疫学会学術集会, 2014/09/, 国内.
29. ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 感染予防法と新規 HAM 治療薬の検討, 齋藤峰輝, 塩浜康雄, 後川 潤, 田中勇悦, 第 19 回日本神経感染症学会総会学術集会, 第 26 回日本神経免疫学会学術集会, 2014/09/, 国内.
30. HTLV-I 関連脊髄症に対する新しい治療戦略の開発に向けて, 中村龍文, 第 19 回日本神経感染症学会総会学術集会・第 26 回日本神経免疫学会学術集会合同学術集会, 2014/09/, 国内.
31. 過去 10 年間に当科に入院した連続 HAM 患者の筋力低下パターン, 松浦英治, 野妻智嗣, 松崎敏男, 渡邊 修, 久保田龍二, 出雲周二, 高嶋 博, 第 19 回日本神経感染症学会総会学術集会・第 26 回日本神経免疫学会学術集会合同学術集会, 2014/09/, 国内.
32. The peripheral blood T-cell subsets dynamics of oral fingolimod(FTY720) treated multiple sclerosis(MS) patients., KIRA J, 第 26 回日本神経免疫学会, 2014/09/, 国内.
33. Modulation of experimental autoimmune encephalomyelitis in an atopic diathesis animal model., KIRA J, 第 26 回日本神経免疫学会, 2014/09/, 国内.
34. 難病研究資源バンクにおける収集試料の HLA タイピング実施による難病研究の推進, 冨田まや子, 平田誠, 佐々木光穂, 樋野村亜希子, 前畑みどり, 高橋一朗, 増井徹, 山野嘉久, 吉良潤一, 米田悦啓, 坂手龍一, 第 23 回日本組織適合性学会大会, 2014/09/, 国内.
35. 慢性 C 型肝炎に対するインターフェロン療法後に、抗アクアポリン 4 抗体及び抗 HTLV-1 抗体陽性の脊髄長大病変を呈した 49 歳女性例, 余郷麻希子, 大本周作, 向井泰司, 安部宏, 相澤良夫, 高橋利幸, 山野嘉久, 鈴木正彦, 第 210 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2014/09/, 国内.
36. HAM における Th1 様異常 T 細胞の発生機構および病態への関与, 佐藤知雄, 新谷奈津美, 安藤仁, 山内淳司, 國友康夫, 高橋克典, 斎藤祐美, 石川美穂, 八木下尚子, 山野嘉久, 第 19 回日本神経感染症学会総会学術集会・第 26 回日本神経免疫学会学術集会合同学術集会, 2014/09/, 国内.
37. HAM における抗 CCR4 抗体療法の有用性および CCR4+CD8+T 細胞の異常に関する検討, 山内淳司, 新谷奈津美, 安藤仁, ARIELLA COLER-R, 國友康夫, 高橋克典, 八木下尚子, 佐藤知雄, 宇都宮與, 山野嘉久, 第 19 回日本神経感染症学会総会学術集会・第 26 回日本神経免疫学会学術集会合同学術集会, 2014/09/, 国内.
38. Changes in salivary stress biomarkers after Stroop test in patients with acute ischemic stroke., SHINOHARA K, SHIRAIISHI M, HASEGAWA Y, The 9th World Stroke Congress in Istanbul, 2014/10/, 国外.

39. NIH-time Score Predicts Outcomes of Patients with Iv-tPA Therapy in Real World Clinical Practice: The Kawasaki Stroke Network registry., SUZUKI Y, ATSUMI C, SHIMIZU T, YAMADA K, SASAKI N, HASEGAWA Y, for the KSN investigators, The 9th World Stroke Congress in Istanbul, 2014/10/, 国外.
40. Quantitative membrane proteome., ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, SAICHI N, FUJII R, TATSUGUCHI A, YAMANO Y, UEDA K, 13th Annual World Congress of the Human Proteome Organization, 2014/10/, 国外.
41. 高血糖による好中球細胞トラップ (neutrophil extracellular traps : NETs) の形成亢進, 三次有奈, 山田真衣, 舘山ゆう, 楠由宏, 志田玄貴, 中沢大悟, 外丸詩野, 三好秀明, 渥美達也, 石津明洋, 第47回北海道病理談話会(病理分科会), 2014/10/, 国内.
42. 抗ラクトフェリン抗体の病原性, 志田玄貴, 中沢大悟, 舘山ゆう, 山田真衣, 楠由宏, 三次有奈, 外丸詩野, 渥美達也, 石津明洋, 第47回北海道病理談話会(病理分科会), 2014/10/, 国内.
43. プロテアソーム機能低下モデルマウスにおける脳機能障害の解析, 伊藤智樹, 外丸詩野, 大村優, 戸松留花, 石津明洋, 笠原正典, 第47回北海道病理談話会(病理分科会), 2014/10/, 国内.
44. Peripheral blood T cell alterations in myelitis with various causes., KIRA J, PACTRIMS 2014, 2014/11/, 国外.
45. Membrane proteome analysis to discover therapeutic targets for adult T-cell leukemia (ATL)., ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, SAICHI N, FUJII R, TATSUGUCHI A, UTSUNOMIYAA, YAMANO Y, SUGANO S, UEDA K, 第76回日本血液学会学術集会, 2014/11/, 国内.
46. Perspectives of HAM/TSP treatment., NAKAMURA T, XII International Symposium of HTLV-I in Brazil, 2014/12/, 国外.
47. Atopic diathesis model mice express tactile allodynia with glial inflammation in spinal cord., KIRA J, 第43回日本免疫学会学術集会, 2014/12/, 国内.
48. Aberrant expression of proteasomal $\beta 5$ subunit affects T cell repertoires in the thymus., KIUCHI S, TOMARU U, KONNO S, MIYAJIMA S, ISHIZU A, KASAHARA M, 第43回日本免疫学会総会・学術集会, 2014/12/, 国内.
49. HAMにおけるTh1-like CD4+CCR4+ T細胞の発生機構と病態形成への関わり, 新谷奈津美, 山野嘉久, 平成26年度厚生労働科学研究費難病政策および実用化研究班合同班会議, 2015/01/, 国内.
50. HAMに対する抗CCR4抗体の有用性およびCCR4+CD8+T細胞の病的意義に関する検討, 佐藤知雄, 山内淳司, アリエラ・コラーライリー, 新谷奈津美, 八木下尚子, 安藤仁, 齊藤祐美, 國友康夫, 高橋克典, 山野嘉久, 平成26年度厚生労働科学研究費難病政策および実用化研究班合同班会議, 2015/01/, 国内.
51. HAM患者レジストリ「HAMねっと」を活用した経年的前向き調査の概要報告, 八木下尚子, 鈴木弘子, 石川美穂, 小池美佳子, 齊藤祐美, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 木村美也子, 山野嘉久, 高田礼子, 平成26年度厚生労働科学研究費難病政策および実用化研究班合同班会議, 2015/01/, 国内.

52. 髄腔内バクロフェン療法 (ITB 療法) を受けた HTLV-1 associated myelopathy(HAM)症例に対する運動療法とロボットスーツ HALR の歩行改善効果, 奥田求己, 池田 巧, 高橋孝多, 瀬尾和弥, 近藤正樹, 堀井基行, 武澤信夫, 水野敏樹, 久保俊一, 中川正法, 第 6 回 日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2015/02/, 国内.
53. HAM に対する革新的な医薬品の開発促進に関する研究, 山野嘉久, 平成 26 年度厚生労働科学研究費「HTLV-1 関連疾患研究領域」研究班合同発表会, 2015/02/, 国内.
54. HAM の革新的な医薬品等の開発促進に関する研究, 山野嘉久, 平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業 進捗管理班 成果報告会, 2015/03/, 国内.
55. HTLV-1 陽性筋炎の臨床, ポスター, 松浦英治, 野妻智嗣, 樋口逸郎, 渡邊修, 高嶋博, 第 56 回日本神経学会学術総会, 2015/5/20, 国内.
56. エクソーム関連解析による HAM 疾患感受性遺伝子の探索, 口頭, 野妻智嗣, 松浦英治, 久保田龍二, 児玉大介, 松崎敏男, 渡邊修, 三井純, 石浦浩之, 山野嘉久, 辻省次, 出雲 周二, 高嶋博, 第 56 回日本神経学会学術総会, 2015/05/20, 国内.
57. HTLV-1 陽性ドナーからの生体腎移植による HAM の発症率と特徴, 口頭, 山野嘉久, 山内淳司, 大勝秀樹, 佐藤知雄, 八木下尚子, 新谷奈津美, 長谷川泰弘, 力石辰也, 柴垣有吾, 第 56 回日本神経学会学術大会, 2015/05/20-23, 国内.
58. 患者レジストリへの介入方法と患者満足度の変化, ポスター, 佐藤健太郎, 菊池崇之, 木村未祐奈, 込田みどり, 島田奏, 関来未, 橘茉莉花, 八木下尚子, 佐藤知雄, 新谷奈津美, 石川美穂, 小池美佳子, 齋藤祐美, 鈴木弘子, 高田礼子, 山野嘉久, 第 56 回日本神経学会学術大会, 2015/05/20-23, 国内.
59. HAM 患者レジストリ「HAM ねっと」を活用した経年的前向き調査, ポスター, 木村未祐奈, 佐藤健太郎, 菊池崇之, 八木下尚子, 新谷奈津美, 石川美穂, 小池美佳子, 齋藤祐美, 佐藤知雄, 鈴木弘子, 木村美也子, 高田礼子, 山野嘉久, 第 56 回日本神経学会学術大会, 2015/05/20-23, 国内.
60. 希少難病 HAM の臨床的有効性評価指標の検討, ポスター, 沢辺愛加, 根岸由衣, 野田和里, 平井祐士, 井上永介, 新谷奈津美, 八木下尚子, 佐藤知雄, 山野嘉久, 第 56 回日本神経学会学術大会, 2015/05/20-23, 国内.
61. HAM 患者のステロイド治療の長期効果に関する後ろ向き研究, ポスター, 竹之内徳博, 第 56 回日本神経学会学術大会, 2015/05/23, 国内.
62. HTLV-1-Associated Myelopathy in Preoperatively HTLV-1 Negative Recipients after Kidney Transplantation from HTLV-1 Positive Donors., ポスター, YAMAUCHI J, SATO T, YAGISHITA N, ARAYA N, CHIKARAISHI T, SHIBAGAKI Y, YAMANO Y, 52nd ERA-EDTA Congress, 2015/05/28-31, 国外.
63. Humanized anti-CCR4 antibody KW0761 targets HTLV-1-infected CD4+CCR4+ and CD8+CCR4+ T-cells to treat HAM/TSP., 口頭, YAMANO Y, YAMAUCHI J, COLER-REILLY A, SATO T, ARAYA N, YAGISHITA N, KUNITOMO Y, TAKAHASHI K, TANAKA Y, AKIYAMA H, HASEGAWA Y, UTSUNOMIYA A, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.

64. HTLV-1 Tax induces Th1 master regulator T-bet and thus IFN- γ in CD4+CCR4+ T-cells of virus-associated myelopathy patients., ポスター, ARAYA N, SATO T, TOMARU U, COLER-REILLY A, YAGISHITA N, YAMAUCHI J, HASEGAWA A, KANNAGI M, AKIYAMA H, HASEGAWA Y, TAKAHASHI K, KUNITOMO Y, TANAKA Y, UTSUNOMIYA A, JACOBSON S, YAMANO Y, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
65. HAM-net national patient registration system reveals details of how Japanese patients with HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis progress over time., 口頭, COLER-REILLY A, YAGISHITA N, SATO T, ARAYA N, ISHIKAWA M, KOIKE M, SAITO Y, SUZUKI H, YAMANO Y, TAKATA A, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
66. Characteristics of HAM/TSP after kidney transplantation from HTLV-1 positive living donors., 口頭, KIMURA M, YAMAUCHI J, TAISHO H, SATO T, YAGISHITA N, ARAYA N, SATO K, KIKUCHI T, HASEGAWA Y, CHIKARAISHI T, SHIBAGAKI Y, YAMANO Y, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
67. Patient Satisfaction Survey for HAM-net Registrants., ポスター, SATO K, KIKUCHI T, KIMURA M, KOMITA M, SHIMADA K, SEKI K, TACHIBANA M, YAGISHITA N, COLLER-REILLY A, SATO T, ARAYA N, ISHIKAWA M, KOIKE M, SAITO Y, SUZUKI H, TAKATA A, YAMANO Y, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
68. Evaluation of clinical outcome measures for HAM/TSP., ポスター, KIKUCHI T, SAWABE A, NEGISHI Y, NODA A, HIRAI Y, INOUE E, KIMURA M, SATO K, ARAYA N, YAGISHITA N, SATO T, YAMANO Y, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
69. Analysis of the association between the sex and disease courses of 132 consequent patients with HTLV-1-associated myelopathy/Tropic spastic paraparesis (HAM/TSP). ポスター, MATSUURA E, NOZUMA S, KUBOTA R, IZUMO S, TAKASHIMA H, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
70. Molecular and clinical analyses of HTLV - 1 subgroups associated with the risk of developing HAM/TSP., ポスター, SAITO M, YASUMA K, NAITO T, MATSUZAKI T, MITOBE Y, YAMANO Y, TAKASHIMA H, MATSUOKA M, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
71. A Three-factor Plasma Diagnostic Model of HAM/TSP., 口頭, UEDA K, 17th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2015/06/18-21, 国外.
72. HTLV-1 陽性ドナーからの生体腎移植によりレシピエントに発症する HAM の特徴, 口頭, 山内淳司, 柴垣有吾, 佐藤知雄, 八木下尚子, 新谷奈津美, 山野嘉久, 力石辰也, 第 60 回日本透析医学会学術集会・総会, 2015/06/26-28, 国内.
73. 末梢血 CD4 陽性 T 細胞を用いた膜プロテオーム解析による HTLV-1 関連疾患に対する新規治療標的の探索, 口頭, 石原 誠人, 新谷 奈津美, 佐藤 知雄, 藤井 理沙, 最知 直美, 宇都宮 與, 山野 嘉久, 植田 幸嗣, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/21, 国内.

74. HTLV-1 陽性ドナーから陰性レシピエントへの生体腎移植による HAM の特徴, 口頭, 山内淳司, 佐藤知雄, 八木下尚子, 新谷奈津美, 大勝秀樹, 長谷川泰弘, 力石辰也, 柴垣有吾, 湯沢賢治, 山野嘉久, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
75. HTLV-1 関連脊髄症(HAM)における髄液細胞のケモカイン受容体解析, 口頭, 佐藤知雄, 安藤仁, 高橋克典, 國友康夫, ARIELLA COLER-REILLY, 新谷奈津美, 八木下尚子, 山野嘉久, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
76. HAM 患者の思いを知る～SEIQoL-DW (個人の生活の質評価法) を用いた関わりを通して～, ポスター, 鈴木弘子, 石川美穂, 小池美佳子, 齊藤祐美, 八木下尚子, 山野嘉久, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
77. HAM 患者レジストリ「HAM ねっと」の経年的患者満足度調査, ポスター, 八木下尚子, 鈴木弘子, 石川美穂, 小池美佳子, 齊藤祐美, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 高田礼子, 山野嘉久, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
78. HTLV-1 核酸検査の標準化および検出感度の検討: 多施設共同研究, 倉光球, 大隈和, 矢持忠徳, 山野嘉久, 長谷川寛雄, 上平憲, 岡山昭彦, 久保田龍二, 出雲周二, 成瀬功, 相良康子, 佐竹正博, 渡邊俊樹, 山口一成, 浜口功, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
79. 鹿児島県の炎症性筋疾患と HTLV-1 感染および抗 NT5C1A 抗体の関係, ポスター, 松浦英治, 野妻智嗣, 樋口逸郎, 渡邊修, 出雲周二, 高嶋博, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
80. 新規単クローン抗体による HBZ 蛋白及び抗 HBZ 抗体の検出・定量系開発と HTLV-1 感染者検体の解析, 口頭, 塩浜康雄, 内藤忠相, 後川潤, 友寄毅昭, 福島卓也, 田中勇悦, 齊藤峰輝, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
81. HAM 発病関連ウイルス型が Tax および HBZ の標的遺伝子発現に及ぼす影響の網羅的解析, 口頭, 内藤忠相, 水戸部悠一, 安間恵子, 松岡雅雄, 齊藤峰輝, 第 2 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2015/08/22-23, 国内.
82. How does HTLV-1 cause CNS disease? - The importance of cross-talk between infected T-cells and astrocytes., 口頭, YAMANO Y, The Inaugural Asia-Pacific School of Neuroimmunology Meeting [APSNI] , 2015/08/30, 国内.
83. 難病バンクにおける HLA タイピング導入による難病研究推進, 口頭, 夢田まや子, 佐々木光穂, 平田誠, 樋野村亜希子, 坂手龍一, 西下直希, 山野嘉久, 吉良潤一, 小原有弘, 松山晃文, 第 24 回日本組織適合性学会, 2015/09/10-12, 国内.
84. 希少難病 HAM 患者レジストリー「HAM ねっと」の臨床研究・治験への応用 ～運営事務局の立場から～, 口頭, 山野嘉久, 第 15 回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2015, 2015/09/12, 国内.
85. HAM の治療展望, 口頭, 山野嘉久, 第 27 回日本神経免疫学会学術集会, 2015/09/15-16, 国内.
86. HAM の病態における CXCR4 シグナル活性化の役割, 口頭, 中村龍文, 佐藤克也, 第 27 回日本神経免疫学会学術集会, 2015/09/15-16, 国内.
87. 鹿児島県における炎症性筋疾患と HTLV-1 感染および抗 NT5C1A 抗体の関係について, 口頭, 松浦英治, 野妻智嗣, 樋口逸郎, 渡邊修, 高嶋博, 第 27 回日本神経免疫学会学術集会, 2015/09/15-16, 国内.

88. HAM 発症関連ウイルス型が疾患感受性を規定する分子機構の解析, 口頭, 齊藤峰輝, 内藤忠相, 水戸部悠一, 安間恵子, 松岡雅雄, 第 27 回日本神経免疫学会学術集会, 2015/09/15-16, 国内
89. Quantitative membrane proteome profiling to discover novel therapeutic targets for HTLV-1 associated myelopathy., 口頭, ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, UTSUNOMIYA A, YAMANO Y, UEDA K, Human Proteome Organization 2015 (HUPO 2015),2015/09/27, 国外
90. Membrane-proteome analysis to discover novel therapeutic targets for adult T-cell leukemia., 口頭, ISHIHARA M, ARAYA N, SATO T, UTSUNOMIYA A, YAMANO Y, UEDA K, 第 74 回血液学会, 2015/10/18, 国内.
91. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) に対する抗 CCR4 抗体療法の開発, 口頭, 山野嘉久, 第 43 回日本臨牀免疫学会学術集会, 2015/10/22-24, 国内.
92. HTLV-1 感染封入体筋炎における抗 NT5C1A 抗体の検討, 口頭, 松浦英治, 野妻智嗣, 樋口逸郎, 渡邊修, 高嶋博, 第 20 回日本神経感染症学会総会・学術集会, 2015/10/22-24, 国内.
93. HTLV-1 陽性ドナーから陰性レシピエントへの生体腎移植による HAM の特徴, 口頭, 山野嘉久, 山内淳司, 佐藤知雄, 八木下尚子, 新谷奈津美, 大勝秀樹, 長谷川泰弘, 湯沢賢治, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016/1/21, 国内.
94. HAM の進行度の特徴と関連バイオマーカーの検討, 口頭, 佐藤知雄, 新谷奈津美, 八木下尚子, 山野嘉久, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016/1/21, 国内.
95. HAM における治療効果を予想するバイオマーカーの検討. 口頭, 玉木慶子, 津川潤, 佐藤知雄, 山野嘉久, 坪井義夫, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016.1.21, 国内.
96. HAM/TSP に随伴する過活動膀胱に対するプロスルチアミン経口薬の効果について, 口頭, 松尾朋博, 中村龍文, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016/1/21, 国内.
97. HAM 発症関連ウイルス型が疾患感受性を規定する分子機構の解析, 口頭, 齊藤 峰輝, 内藤 忠相, 水戸部 悠一, 安間 恵子, 松岡 雅雄, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016/1/21, 国内.
98. HTLV-1 ウイルス遺伝子の網羅的解析による HAM 発症リスク因子の探索, 口頭, 野妻智嗣, 松浦英治, 松崎敏男, 児玉大介, 久保田龍二, 出雲周二, 高嶋博, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016/1/21, 国内.
99. HAM の発症と進行に関わる遺伝因子の探索, 口頭, 松田文彦, 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 27 年度合同班会議, 2016/1/21, 国内.
100. HAM の革新的な医薬品の開発促進に関する研究, 口頭, 山野嘉久, 平成 27 年度厚生労働科学研究費&日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発費 HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2016/2/6, 国内.
101. HAM の革新的な医薬品等の開発促進に関する研究, ポスター, 山野嘉久, 長谷川泰弘, 新野正明, 藤原一男, 中川正法, 竹之内徳博, 永井将弘, 吉良潤一, 中村龍文, 高嶋博, 渡嘉敷崇, 米澤久司, 坪井義夫, 高田礼子, 齊藤峰輝, 外丸詩野, 植田幸嗣, 松田文彦, 井上永介, 平成 27 年度

102. 腎移植患者の HTLV-1 感染と HAM 発症, 口頭, 山野嘉久, 第 49 回日本臨床腎移植学会, 2016/3/25, 国内.
103. Seroprevalence of Human T-Lymphotropic virus types 1 in patients with surgical history in Kagoshima, southern Japan. ポスター. YUICHI TASHIRO, EIJI MATSUURA, SATOSHI NOZUMA, AKIHIRO HASHIGUCHI, OSAMU WATANABE, RYUJI KUBOTA, HIROSHI TAKASHIMA. The 14th international congress on neuromuscular diseases (ICNMD2016). Toronto, Canada. 2016/7.
104. Comprehensive cell surface proteomics analysis aiming at discovering Novel therapeutic targets for HTLV-1 associated disease. MURAOKA, S., UCHIMARU, K., UTSUNOMIYA, A., YAMANO, Y., UEDA, K. 日本プロテオーム学会 2016 年年会, (2016) July. 28, Oral presentation. 国内.
105. Comprehensive membrane proteome analysis for discovery of novel potential therapeutic targets against HTLV-1 associated disease. MURAOKA, S., UCHIMARU, K., UTSUNOMIYA, A., YAMANO, Y., UEDA, K. HUPO 2016, (2016) Sep. 21, Poster presentation. 国外
106. Viruses in neuroimmunological disorders. 口頭, YAMANO Y. 13th International Congress of Neuroimmunology(ISNI 2016), 26-29 September 2016, 国外.
107. The New Phase of HAM/TSP Research. 口頭, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
108. Prevalence, Incidence, and Evidence of High ATL Risk among HAM/TSP Patients. 口頭, ARAYA N, SATO T, YAGISHITA N, COLER-REILLY A, UCHIMARU K, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
109. Effectiveness of Low-Dose Oral Prednisolone to Treat and Slow Progression of HAM/TSP: A Nationwide Prospective Cohort Study. ポスター, SATO T, INOUE E, YAGISHITA N, ARAYA N, TAKATAA, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
110. Daily Prednisolone Slows the Progression of HAM/TSP. ポスター, COLER-REILLY A, SATO T, MATSUZAKI T, NAKAGAWA M, NIINO M, NAGAI M, NAKAMURA T, TAKENOUCHI N, ARAYA N, YAGISHITA N, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
111. A New Index Describing Urinary Dysfunction in Patients with Human T-lymphotropic Virus Type 1-associated Myelopathy. ポスター, YAMAKAWA N, AMANO S, KAWAKAMI H, YAMASHITA H, YAGISHITA N, ARAYA N, SATO T, TAKATAA, MATSUO T, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
112. Progression Patterns of Osame's Motor Disability Score for HAM/TSP Patients. ポスター, INOUE E, COLER-REILLY A, ARAYA N, YAGISHITA N, SATO T, TAKATAA, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.

113. Patient Satisfaction Survey for HAM-net Registrants. ポスター, SUZUKI H, SATO K, KIKUCHI T, KIMURA M, ARIFUKU H, KOMITA M, SHIMADA K, SEKI K, TACHIBANA M, YAGISHITA N, COLER-REILLY A, SATO T, ARAYA N, ISHIKAWA M, KOIKE M, SAITO Y, TAKATA A, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
114. Development of a New Assay for Quantification of HTLV-1 Proviral DNA. ポスター, HIGASHIKUSE Y, NAGAI G, ARAYA N, YAGISHITA N, SATO T, YAMANO Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
115. High Risk with Human T-cell Leukemia Virus Type 1 for HTLV-1 Associated Myelopathy after Living Kidney Transplantation in Japan. ポスター, YUZAWA K, MATSUOKA M, YAMANO Y, ICHIMARU N, NISHIKIDO M, SHIBAGAKI Y, SUGITANI A, NAKAMURA N, MIENO M, YAMAUCHI J. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
116. IL-10-mediated Signals as a Switch to Proliferation in HTLV-1-infected T Cells. 口頭, SAWADA L, NAGANO Y, HASEGAWA A, ITO S, SATO T, YAMANO Y, TANAKA Y, MASUDA T, KANNAGI M. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
117. Comparative Transcriptome Analysis of HTLV-1-infected Cells and ATL Cells. ポスター, YAMAGISHI M, NAKANO K, FUJIKAWA D, KOBAYASHI S, ARAYA N, SATO T, YAGISHITA N, IWANAGA M, UTSUNOMIYA A, TANAKA Y, YAMANO Y, WATANABE T, UCHIMARU K. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
118. Biomarkers for Predicting Treatment Response in Patients with HTLV-1-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis (HAM/TSP). ポスター, TAMAKI K, SATO T, COLER-REILLY A, INOUE E, TSUGAWA J, YAMANO Y, TSUBOI Y. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
119. Effect of Biologic Agents on HAM/TSP with Rheumatoid Arthritis. ポスター, MATSUZAKI T, SAITO M, YAMANO Y, NAGAI M, TAKASHIMA H, IZUMIHARA T, YOSHITAMA T, KUBOTA R. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
120. Investigation of Human Leukocyte Antigen on Human T-Lymphotropic Virus Type-1 Associated Myelopathy (HAM) by the Rare Disease Bank. ポスター, TADA M, YAMANO Y, SATO T, SASAKI M, SAKATE R, HINOMURA A, HIRATA M, TANAKA H, KOJIMA H, KOHARA A, MATSUYAMA A. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.
121. The Development of Human T-cell Leukemia Virus Type 1 (HTLV-1)-Associated Myelopathy (HAM)-Mimicking Myelitis Following Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Acute Type Adult T-cell Leukemia-lymphoma (ATL). ポスター, KAWANO N, YAMANO Y, KAWANO S, KAWAMATA T, YOSHIDA S, KURIYAMA T, UCHIMARU K, MARUTSUKA K, MINATO S, YAMASHITA K, OCHIAI H, SHIMODA K, ISHIKAWA F, KIKUCHI I. 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 7-10 March 2017, 国内.

122. Establishment of an in vitro HTLV-1 infection model via dendritic cells (ポスター)、
NORIHIRO TAKENOUCI, MASAKAZU TANAKA, JUN-ICHI FUJISAWA, 18th
International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses、2016.3.7-10、
国内
123. Effect of adjuvant in the Tax vaccination of humanized mouse to prevent HTLV-1 infection
(ポスター)、MASAKAZU TANAKA, YIHUA REN, JINCHUN YAO, SUNG-IL LEE,
NORIHIRO TAKENOUCI, JUN-ICHI FUJISAWA, 18th International Conference on
Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses、2016.3.7-10、国内
124. Estimated number of HTLV-1 carriers in Kagoshima. ポスター YUICHI TASHIRO, EIJI
MATSUURA, YASUKO SAGARA, RYUJI KUBOTA, HIROSHI TAKASHIMA. The 18th.
International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses. 7-10 March
2017, 国内.
125. Establishment of a novel small animal model for HAM/TSP. Oral Presentation,
USHIROGAWA H, ARISHIMA S, YASUNAGA J, KUBOTA R, OHSHIMA K, IZUMO S,
MATSUOKA M, SAITO M. The 18th International Conference on Human Retrovirology:
HTLV and Related Viruses, 2017/03/10, 国内 (国際学会であるが東京で開催) .
126. The role of CC chemokine ligand (CCL) 1 targeted by Tax in HAM/TSP. Poster Presentation,
SEJIMA H, MATSUZAKI T, MATSUURA E, TAKASHIMA H, SAITO M. The 18th
International Conference on Human Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2017/03/08, 国
内 (国際学会であるが東京で開催) .
127. Plasma autoantibody against cancer testis antigen NY-ESO-1 in HTLV-1 infected individuals
with different clinical status. Poster Presentation, SAITO M, SHIOHAMA Y, NAITO T,
MATSUZAKI T, MATSUURA E, TANAKA R, TOMOYOSE T, FUKUSHIMA T, TAKASHIMA
H, TANAKA Y. The 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and
Related Viruses, 2017/03/08, 国内 (国際学会であるが東京で開催) .
128. Molecular analysis of HTLV-1 subgroups associated with the development of HAM/TSP.
Poster Presentation, NAITO T, SAITO M. The 18th International Conference on Human
Retrovirology: HTLV and Related Viruses, 2017/03/08, 国内 (国際学会であるが東京で開催) .
129. Genomic Epidemiology of HTLV-1-Associated Diseases ~Towards the Understanding of
Underlying Molecular Mechanisms from HTLV-1 Infection to ATL and HAM. (口頭発表)
MATSUDA, F. The 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV and
Related Viruses. 平成29年3月10日、国内
130. Gene Expression Profile of Activated HTLV-1-Infected Cells from HAM/TSP Patients, ポスタ
ー, KUBOTA R, KODAMA D, TAKASHIMA H, 18th International Conference on Human
Retrovirology: HTLV & Related Viruses, 2017/3/7, 国内.
131. ER Stress Response Induced by Inhibition of GRP94 or LacNAc synthetase B3GnT2 in CD4
+T Cells of HAM/TSP, ポスター, KODAMA D, MATSUZAKI T, TAKASHIMA H, KUBOTA R,
18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses, 2017/3/7,
国内.
132. Effects of Host Restriction Factors and the HTLV-1 Subtype on Susceptibility to HAM/TSP, ポ
スター, NOZUMA S, MATSUURA E, MATSUZAKI T, KODAMA D, KUBOTA R, IZUMO S,
TAKASHIMA H, 18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related
Viruses, 2017/3/7, 国内.

133. 「Targeted Enrichment: A Novel Approach to Analyze the Integrated HTLV-1 Provirus through Next-Generation Sequencing」ポスター、宮里パオラ、佐藤賢文、東京、18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses, 2017/3/7, 国内.
134. 「Targeted Enrichment: A Novel Approach to Analyze the Integrated HTLV-1 Provirus through Next-Generation Sequencing」ポスター、勝屋弘雄、佐藤賢文、東京、18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses, 2017/3/7, 国内.
135. 「Molecular Characterization of a New Enhancer in HTLV-1 Provirus」ポスター、松尾美沙希、佐藤賢文、東京、18th International Conference on Human Retrovirology: HTLV & Related Viruses, 2017/3/7, 国内.
136. 「ヒトレトロウイルス HTLV-1 はヒトゲノムに異所性 CTCF 結合部位を挿入する」ポスター、佐藤賢文、大阪、第10回日本エピジェネティクス研究会年会、2016/5/19 国内
137. 鹿児島大学病院の術前感染スクリーニング検査結果を用いた鹿児島県の HTLV-1 感染率の推計 ポスター 松浦英治, 田代雄一, 安藤匡宏, 野妻智嗣, 高嶋博. 第57回日本神経学会学術総会. 神戸. 2016/5.
138. HAM 患者に対するメチルプレゾロンパルス療法及び後療法の有効性, 第57回日本神経学会学術大会, 玉木慶子. 神戸. 2016/5.
139. HAM 発症感受性を規定するウイルス型特異的転写制御因子の機能解析, 口頭, 齊藤峰輝, 後川潤, 内藤忠相. 第57回日本神経学会学術大会, 2016/05/21, 国内.
140. Gene expression profile of activated HTLV-1-infected cells from HAM patients,ポスター,久保田龍二, 高嶋博, 出雲周二, 第57回日本神経学会学術大会, 2016/5/21, 国内
141. HAM の分子病態解明による治療薬開発の新展開, 口頭, 山野嘉久. 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2016年8月26日~28日, 国内.
142. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) における HAS-Flow 法を用いた ATL 発症高危険度患者の予測, 口頭, 新谷奈津美、佐藤知雄、八木下尚子、高橋克典、内丸薫、山野嘉久. 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2016年8月26日~28日, 国内.
143. HAM 発症から診断までの期間における納の運動障害重症度の経時推移の解析, 口頭, 井上永介、Ariella Coler-Reilly、新谷奈津美、八木下尚子、佐藤知雄、高田礼子、山野嘉久. 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2016年8月26日~28日, 国内.
144. HAM 患者に対する経ロステロイド維持療法の長期的効果, 口頭, 佐藤知雄、Ariella Coler-Reilly、新谷奈津美、八木下尚子、中村龍文、永井将弘、新野正明、竹ノ内徳博、中川正法、松崎敏男、山野嘉久. 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2016年8月26日~28日, 国内.
145. HAM 患者における治療効果を予測するバイオマーカーの検討, ポスター, 玉木慶子、佐藤知雄、津川潤、山野嘉久、坪井義夫. 第3回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2016年8月26日~28日, 国内.
146. 抗原提示細胞を介した in vitro HTLV-1 感染モデルの構築 (ポスター)、竹之内徳博、田中正和、藤澤順一、第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016,8,26-28、国内

147. HTLV-1 感染ヒト化マウスを用いた感染予防ワクチンにおけるアジュバント効果の検討(口演)、田中正和、任翊华、竹之内徳博、姚錦春、李成一、藤澤順一、第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016,8,28、国内
148. 鹿児島県における年代別 HTLV-1 感染者の推定。ポスター 松浦英治、田代雄一、安藤匡宏、野妻智嗣、高嶋博。第3回 HTLV-1 学会。鹿児島。2016/8.
149. HAM 発症に関与する宿主防御因子と HTLV-1 ウイルス遺伝子の解析。口演 野妻智嗣、松浦英治、松崎敏男、兒玉大介、久保田龍二、出雲周二、高嶋博。第3回日本 HTLV-1 学会。鹿児島。2016/8.
150. HTLV-1 感染症における抗 NY-ESO-1 自己抗体の臨床的意義、ポスター、齊藤峰輝、塩浜康雄、内藤忠相、松崎敏男、友寄毅昭、高嶋博、福島卓也、田中勇悦。第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016/08/27、国内。
151. HAM 患者 HTLV-1 感染細胞のウイルス活性化時の遺伝子変動、ポスター、久保田龍二、高嶋博、第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016/8/27、国内。
152. HAM 発症に関与する宿主防御因子と HTLV-1 ウイルス遺伝子の解析、野妻智嗣、松浦英治、松崎敏男、兒玉大介、久保田龍二、出雲周二、高嶋博、第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016/8/28、国内。
153. 「Application of targeted enrichment to the next-generation sequencing of integrated HTLV-1 provirus」口演、宮里パオラ、佐藤賢文、鹿児島、第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016/8/27、国内
154. 「HTLV-1 プロウイルス内エンハンサーの分子メカニズム解析」ポスター、松尾美沙希、佐藤賢文、鹿児島、第3回日本 HTLV-1 学会学術集会、2016/8/27、国内
155. 希少難病 HAM の分子病態解明による治療薬開発の新展開、口頭、山野嘉久。第1回日本臨床薬理学会関東・甲信越地方会、2016年9月3日、国内。
156. 抗原提示細胞を介した HTLV-1 感染モデル作製の試み(口演)、竹之内徳博、田中正和、藤澤順一、第56回日本神経学会学術大会、2016,9,30、国内
157. 松尾朋博、佐藤克也、中村龍文、宮田康好、酒井英樹：HTLV-I 関連脊髄症に随伴する神経因性過活動膀胱に対するプロスルチアミン経口薬の効果。第28回日本神経免疫学会学術集会、2016年9月、長崎。
158. 高齢女性の血清 HTLV-1 抗体の高陽性率に水平感染が影響しているか-疫学的検討-。ポスター 松浦英治、田代雄一、安藤匡宏、野妻智嗣、高嶋博。第28回日本神経免疫学会学術集会。長崎。2016/9.
159. 宿主防御因子と HTLV-1 ウイルス遺伝子解析による HAM 発症リスク因子の探索。ポスター 野妻智嗣、松浦英治、松崎敏男、兒玉大介、久保田龍二、出雲周二、高嶋博、第28回日本神経免疫学会学術集会。長崎。2016/9.
160. 抗原提示細胞を介した in vitro HTLV-1 感染モデルの構築(口演)、竹之内徳博、田中正和、藤澤順一、第21回日本神経感染症学会総会・学術大会、2016,10,21、国内

161. 術前スクリーニング検査を用いて算出した鹿児島県の HTLV-1 感染者数. ポスター 松浦英治, 田代雄一, 安藤匡宏, 野妻智嗣, 渡邊修, 高嶋博. 第 21 回日本神経感染症学会学術大会. 金沢. 2016/10.
162. 「Application of targeted enrichment to the next-generation sequencing of retroviruses integrated into the host human genome」ポスター、宮里パオラ、佐藤賢文、札幌、第 6 4 回日本ウイルス学会学術集会、2016/10/23、国内
163. 「Molecular characterization of a new enhancer in HTLV-1 provirus」口演、松尾美沙希、佐藤賢文、札幌、第 6 4 回 日本ウイルス学会学術集会、2016/10/23、国内
164. HAM の CCR4 モノクローナル抗体療法, 口頭, 山野嘉久. 第 34 回日本神経治療学会総会, 2016 年 11 月 3 日~5 日 [4 日], 国内.
165. 生体腎移植における HTLV-1 感染リスクについて. 口頭, 山野嘉久. 第 53 回大阪腎移植病理組織研究会, 2016 年 11 月 11 日, 国内.
166. 「Application of targeted enrichment to the epigenetic analysis of HTLV-1 provirus」ポスター、宮里パオラ、佐藤賢文、横浜、第 3 9 回 日本分子生物学会、2016/11/30、国内
167. HAM 患者レジストリ「HAM ねっと」による難病医療の向上を目指して. 口頭, 山野嘉久. AMED 連携シンポジウム, 2017 年 1 月 6 日, 国内.
168. HAM における ATL の合併率、発症率および高リスク群に関する解析. 口頭, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 八木下尚子, 渡邊俊樹, 内丸薫, 山野嘉久. 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 28 年度合同班会議, 2017 年 1 月 18~19 日, 国内.
169. HAM の新しい排尿障害重症度評価指標の提案. 口頭, 山川 奈津子, 天野佐亞哉, 川上仁美, 山下瞳, 八木下尚子, 新谷奈津美, 佐藤知雄, 松尾朋博, 山野嘉久. 厚生労働省難治性疾患 (神経免疫疾患) 政策および実用化研究班平成 28 年度合同班会議, 2017 年 1 月 18~19 日, 国内.
170. 「ヒトゲノムに組み込まれた外来性レトロウイルスの転写制御メカニズム」、口演、佐藤賢文、大阪、大阪大学蛋白質研究所セミナー、2017/3/7、国内

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

1. 臓器移植後に伴う HTLV-1 関連疾患発症の実態について, 山野嘉久, 第 9 回 HTLV-1 対策推進協議会, 2015/9/30, 国内.
2. HAM に対する日本発の革新的治療となる抗 CCR4 抗体の実用化研究, 山野嘉久, 革新的医療技術創出拠点プロジェクト統合戦略会議, 2015/11/10, 国内.
3. HTLV-1 の基礎知識と HAM について, 山野嘉久, 鹿児島県 HTLV-1 対策講演会, 2015/11/22, 国内.
4. 医師主導の開発(Workshop-2) : 市販薬の追加適応獲得, 山野嘉久, 大阪大学臨床医工学・情報学スキルアップ講座, 2015/12/5, 国内.
5. ここまで進んでいます! HAM 革新的な新薬開発の最新情報, 山野嘉久, NPO 法人スマイルリボン・スマイルリボン福岡 HTLV-1 講演会, 2015/12/26, 国内.

6. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) について, 山野嘉久, 神奈川県科学技術アカデミー GHRCC 研究室セミナー, 2016/1/5, 国内.
7. HTLV-1 母子感染の予防, 山野嘉久, 神奈川県平成 27 年度母子保健関連研修, 2016/1/8, 国内.
8. HTLV-1 母子感染予防対策について～現況と展望～, 山野嘉久, 平成 27 年度神奈川県母子保健対策検討委員会, 2016/1/18, 国内.
9. HTLV-1 ウイルスを知ってください。母子感染予防から, 相談ができる地域づくりをめざして, 山野嘉久, 宮城県 HTLV-1 感染予防対策研修会, 2016/2/27, 国内.
10. HTLV-1 の基礎知識と最新情報について. キャリア妊産婦・患者への支援について, 山野嘉久, 山梨県平成 27 年度山梨県 HTLV-1 母子感染予防対策研修会, 2016/3/11, 国内.
11. HAM の分子病態解明による治療薬開発の新展開, 山野嘉久, 長崎大学病院自己免疫・炎症性疾患勉強会, 2016/3/15, 国内.
12. HAM の病態機序に基づいた疾患修飾薬の開発, 山野嘉久, 日沼頼夫先生メモリアルシンポジウム HTLV-1 研究の現況と展望, 2016/3/16, 国内.
13. 山野嘉久. HAM について～より良い治療を目指して～. 平成 28 年度 HTLV-1 対策講演会「知りましょう! HTLV-1 のこと～ヒト T 細胞白血病ウイルスとは～」, 2016 年 12 月 18 日, 国内.
14. 山野嘉久. 医師主導の開発: 市販薬の追加適応獲得, 平成 28 年度大阪大学 MEI プロフェッショナルコース, 2017 年 1 月 14 日, 国内.
15. 山野嘉久. HTLV-1 って何? 第 40 回聖マリアンナ医科大学公開講座, 2017 年 1 月 25 日, 国内.
16. 山野嘉久. HTLV-1 母子感染の予防, 平成 28 年度不妊・不育・HTLV-1 相談に関する研修, 2017 年 2 月 22 日, 国内.
17. 山野嘉久. HTLV-1 の基礎知識と最新情報について、キャリア妊産婦・患者への支援について, 平成 28 年度山梨県 HTLV-1 母子感染予防対策研修会, 2017 年 3 月 14 日, 国内.
18. 山野嘉久. HAM について, 第 1 回 HTLV-1 治療研究講演会・第 1 回スマイルリボン全国大会, 2017 年 3 月 8 日, 国内.

(4) 特許出願

公開とする特許なし